

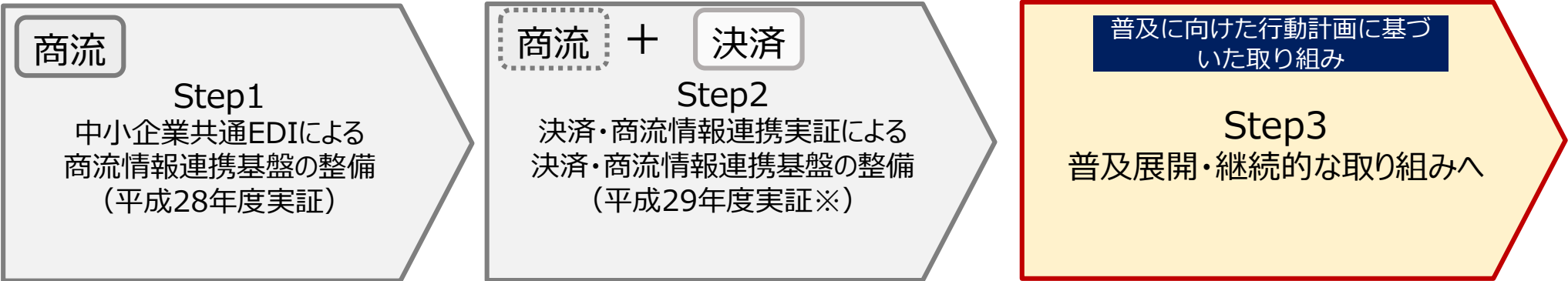
# 普及課題について

中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業 普及調査部会長  
一般社団法人クラウドサービス推進機構  
理事長 松島 桂樹

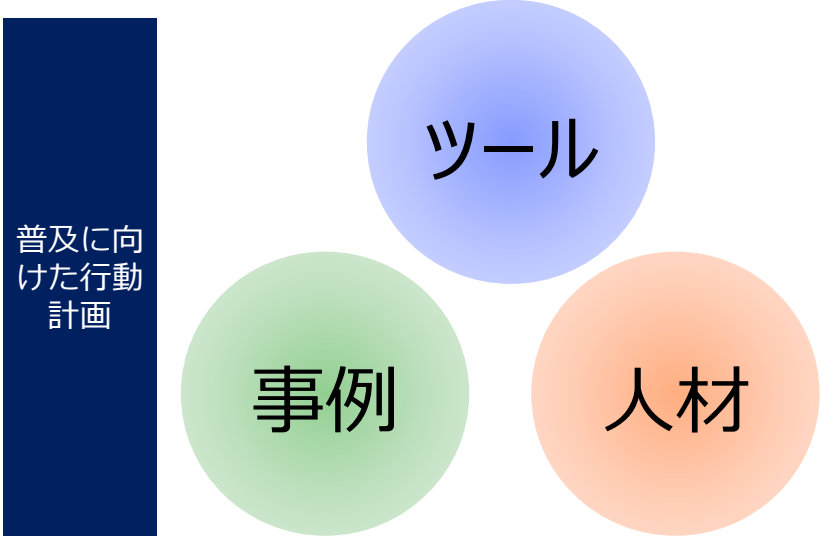
2019年3月15日

# これまでの取り組み経緯

商流EDIの基盤を整備した平成28年度実証、商流EDIと決済連携を行った平成29年度実証において、「ツール」、「事例」、「人材」等の枠組みや行動計画を整備してきました。



## 枠組み・行動計画の整備



## 整備した枠組みで普及展開へ

ツール	中小企業共通EDIの創出と全銀EDIシステム（ZEDI）との連携可能なツール
事例	中小企業が商流、決済情報を連携することによる生産性向上の事例創出
人材	ツール導入が可能な人材育成の仕組みやガイドの整備、紹介の仕組み整備

# 普及に向けた行動計画

ツール、事例、人材を軸に行動計画を検討し、「導入ユーザー」、「サービス提供ベンダー（プロバイダー）」、「導入の支援者」等のそれぞれのステークホルダー別に行動計画を整理しました。



## （１）ユーザー増加に関する行動

項番	普及に向けて求められる行動
(ア)	導入事例の創出と発信
(イ)	対応製品・サービスの登録制度
(ウ)	中小企業経営に関する指針への掲載
(エ)	影響力の大きい関係者との連携協議
(オ)	メディア戦略
(カ)	導入・利用コスト低減の取り組み
(キ)	サプライチェーン全体での普及協力

## （２）ベンダー増加に関する行動

項番	普及に向けて求められる行動
(ア)	電子決済等代行業に係る手続等の負担軽減
(イ)	ZEDI利用に係る周辺業務・環境の改善
(ウ)	ゲートウェイセンターの商用化
(エ)	既存EDIベンダーへの周知

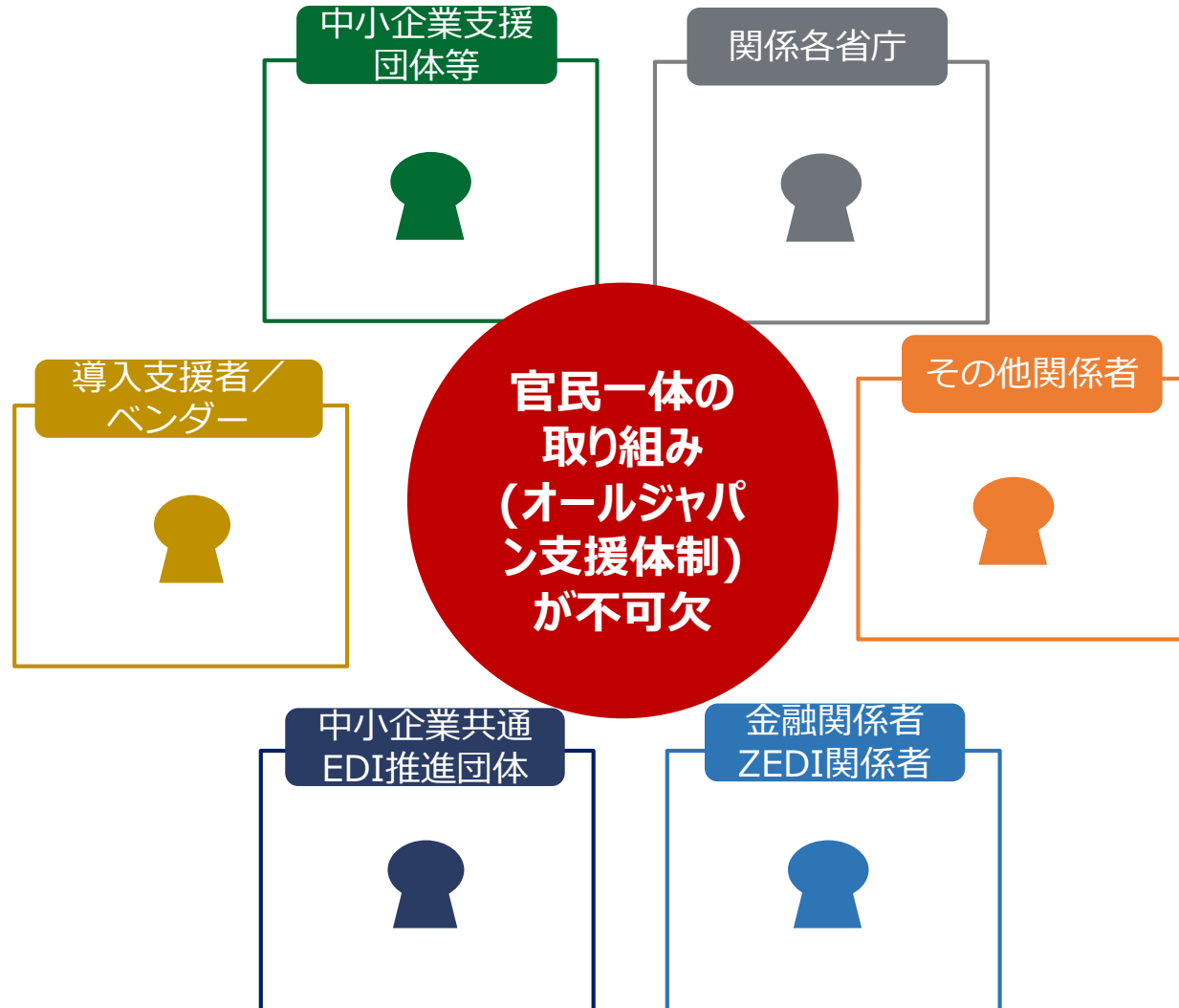
## （３）支援者増加に関する行動

項番	普及に向けて求められる行動
(ア)	支援人材の育成
(イ)	紹介窓口の増加と関連団体への働きかけ

普及に向けた行動計画

# 普及に向けた課題

普及を促進するためには、関係者が普及に向けた行動を継続的に実施していくことが不可欠です。



**普及に向けた継続的な関係者協力が必要！  
オールジャパン支援体制が不可欠！**

- ✓ 各団体等により、継続的に普及のための行動計画を具体化し、実施していく必要があり、関係者の相互連携が必要不可欠である
- ✓ 中小企業共通EDIを推進するつなぐITコンソーシアム等の普及推進団体を中心に関係者同士が協力し、普及に向けた活動を絶やさないこと(継続的な活動)が重要